

山側環状「神谷内IC」開通！

～国道159号 金沢東部環状道路～

金沢東部環状道路で唯一未供用となっていた神谷内ICの開通をお知らせします。

●開通日

平成22年3月27日（土）

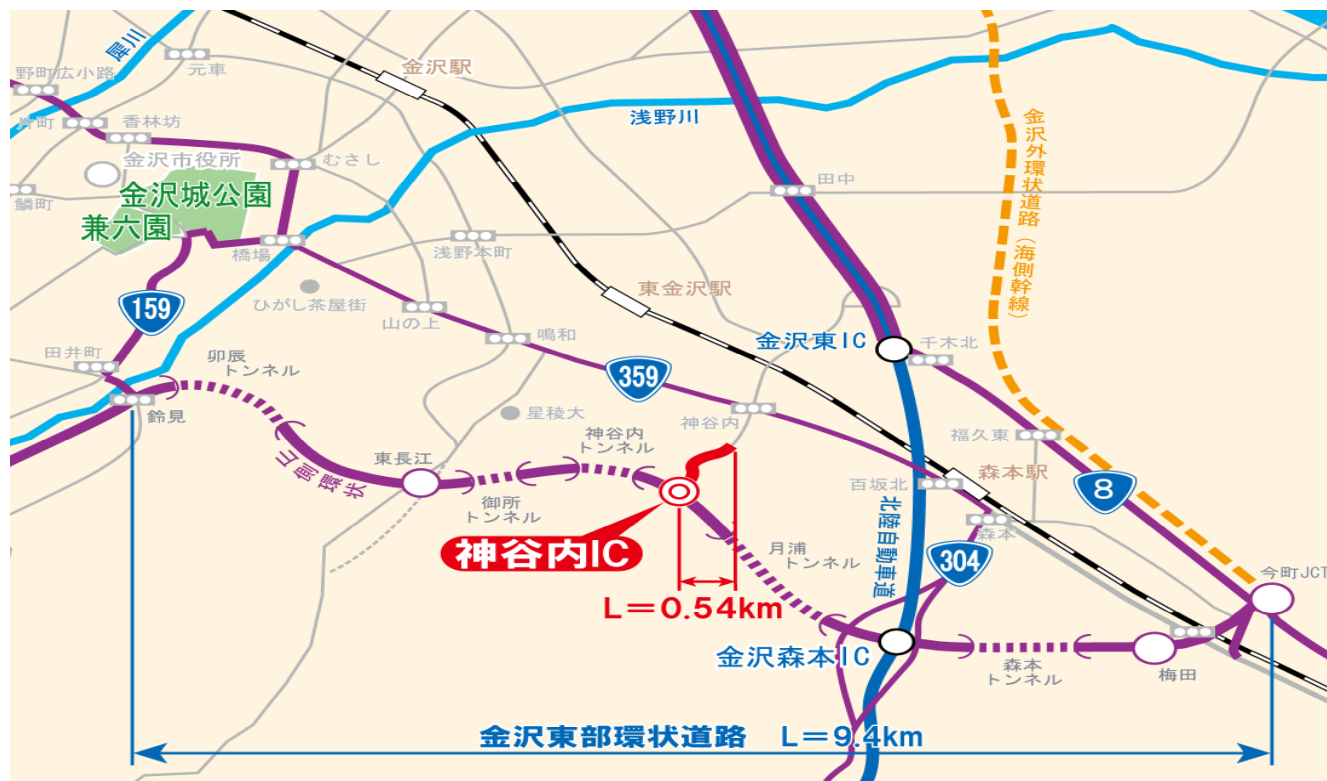
※開通時間等の詳細については、後日決定次第お知らせします。

●今回の開通箇所

国道159号 金沢市神谷内町 L=約0.54km

●整備効果（詳細は別紙参照）

- ①神谷内地区周辺から、もりの里方面へのアクセスが、**約4分短縮**されます。
- ②東長江から鳴和交差点へ流入する交通量の減少に伴い、**渋滞減少**が期待されます。
- ③**中環状道路が完成**するため、地域連携の強化が期待されます。



お問い合わせ先

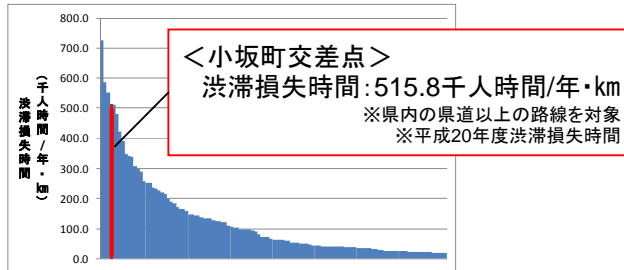
国土交通省 金沢河川国道事務所 調査第二課長 吉田 英治

電話：076-264-9912（調査第二課直通）

◆神谷内ICの整備効果①

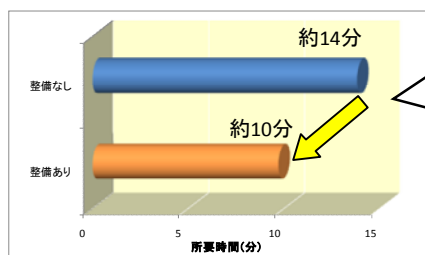
【課題①】小坂町地区における渋滞

山側環状の開通により、小坂町交差点で発生していた渋滞は平日、休日ともに改善されました。しかし、依然として渋滞損失時間は**石川県内4位**(504区間中)であり、神谷内周辺から山側環状へアクセスしにくい状況となっています。



【効果①】もりの里方面へのアクセス性が向上

神谷内ICの開通により、神谷内周辺から山側環状へは小坂町交差点などの信号交差点を回避したアクセスが可能となり、もりの里方面へのアクセス性が向上します。



神谷内周辺からもりの里方面へのアクセスが**約4分短縮**



◆神谷内ICの整備効果②

【課題②】鳴和交差点における渋滞

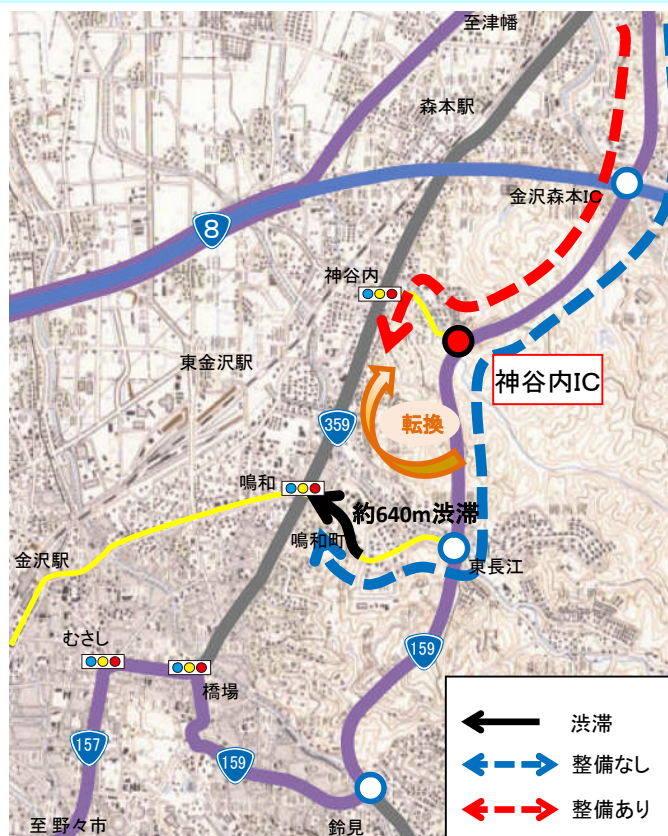
山側環状の開通後、東長江を利用して金沢市中心部へ流入する交通が増加し、慢性的な交通渋滞が発生しており、平成18年6月の調査では、東長江から鳴和交差点方面へ**約640mの渋滞**(通過時間約7分)が発生しています。



(鳴和町地先から鳴和交差点方面を望む)

【効果②】交通量の分散化による渋滞減少が期待

神谷内ICの開通により、金沢市中心部への交通量が転換(分散)することが見込まれるため、鳴和交差点の**渋滞減少が期待**されます。



◆神谷内ICの整備効果③

●神谷内ICが整備されると・・・

①中環状道路が完成します。

国道8号、(都)千木神谷内線、国道159号、(主)金沢井波線、(都)小立野古府線、(主)金沢美川小松線による中環状道路が繋がります。

②北陸自動車道などの広域ネットワークとの連携を強化するとともに、地域間連携の強化が期待されます。



金沢市都市計画マスタープラン2009「道路整備方針図」